

# 第2部 基本構想

第1章 目指すべき「郡上市」像

第2章 基本構想の構成・体系

## 第2部【基本構想】

### 第1章 目指すべき「郡上市」像

#### 第1節 まちづくりの基本理念

先人が培ってきた伝統を受け継ぎ、市民であることに誇りをもち、新しい未来に向かって、共に生きるふるさつをつくるために定められた市民憲章は、単なる精神的な支柱だけではなく、市民の共感を得て取り組む郡上市づくりの根幹を示したものです。また、市民が主人公のまちづくりに向けて制定された住民自治基本条例の前文には、いつまでも住み続けられる地域を目指し、市民、議会、市長等がそれぞれの役割を担って協働によるまちづくりを進めることを明記しました。

景気の低迷や人口減少、超高齢化、地域の過疎化などの問題が山積する中、現状を的確に認識して将来を考え、また、みんなが協力する様々な取り組みを総動員し、地域の個性を活かし、市民がいつまでも安心して住み続けられるまちづくりにより、「郡上に住んで良かった」と実感できることが重要となります。

そこで、世界農業遺産「清流長良川の鮎」や白山ユネスコエコパーク（生物圏保存地域）に代表される豊かな自然、伝統文化、産業、暮らしなど、市民の皆さんそれぞれの「郡上」に対する思い入れや誇りを大切に、これまで先人が培ってきた郡上の価値を今後もずっと守り続け、そして、その価値をもっと伸ばしていきたいと考えます。

このため、基本理念を「みんなで考え、みんなで作る郡上 ～ ずっと郡上 もっと郡上 ～」とし、これからの郡上市づくりを皆さんと一緒に取り組みます。

#### 基本理念

**みんなで考え、みんなで作る郡上**

～ ずっと郡上 もっと郡上 ～

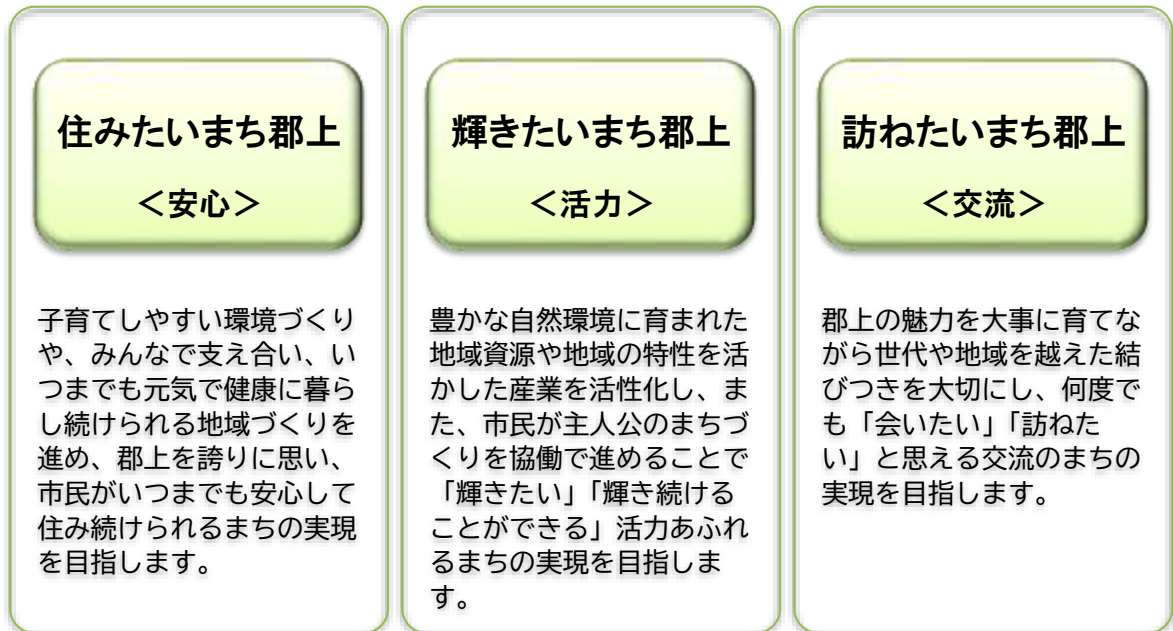


## 第2節 郡上市の将来像

### (1) 目指すべき郡上市の将来像

第2次総合計画において、目指すべき郡上市の将来像として、市民が郡上を誇りに思い、安心して住み続けられることが一番大切なことと考え、「住みたいまち郡上<安心>」「輝きたいまち郡上<活力>」「訪ねたいまち郡上<交流>」としています。

活力ある「ふるさと郡上」の構築に向けて、市内のあらゆる地域資源をみんなで一緒に磨き、連携・活用することにより、郡上市の活性化を図っていくため平成29年度から政策推進の旗印として掲げている「観光立市郡上」の実現が目指すべき将来像に結びつきます。



## (2)「観光立市郡上」の実現

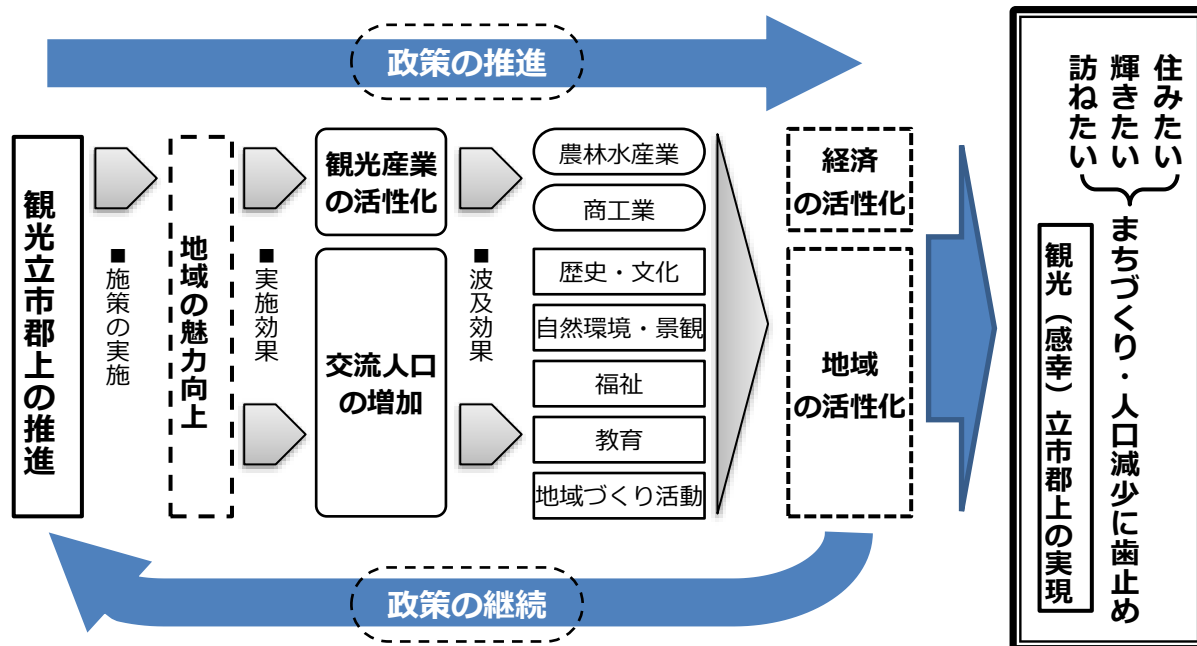
少子高齢化が進み、人口減少が続く中であっても、魅力あふれる「まち」として持続可能な郡上をつかっていくため、「第2次郡上市総合計画」や「郡上市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に盛り込んだ取り組みの実効性を高め、強力で押し進めていくための政策の旗印として、平成29年度に「観光立市郡上」を掲げました。

この「観光立市郡上」とは、市民の方も、また、市民でない方にとっても、郡上が居心地の良い場所であり、第2次総合計画の将来像にも掲げた「住みたいまち郡上」、「訪ねたいまち郡上」と思えるとともに、幸せを感じられる郡上を創造することによって、「輝きたいまち郡上」を実現しようとするものです。また、この「観光立市郡上」は「感幸立市郡上」を目指すものでもあります。

郡上市が目指す観光立市とは、単に「観光産業」という視点だけではなく、地域の総合産業として地域づくりを積極的に推進するためのものであり、幅広い分野で地域経済にインパクトを与えるものにしていく必要があります。

「観光立市郡上」の推進に当たっては、単に訪れる人の満足度を高めていくだけではなく、郡上に住む市民の暮らしやすさも追求していく必要があります。これは、既存の観光資源のみならず、郡上がもつ自然や歴史、文化、産業、地域に息づく暮らしなどの資源や個性を最大限活用し、地域の魅力を生み出すことで来訪者に感動を与え続けること、また、市民の皆さんも郡上の魅力や個性を認識していただき、訪れる人との交流やつながりを深めることによって郷土愛や誇りを育てていくことにつながります。

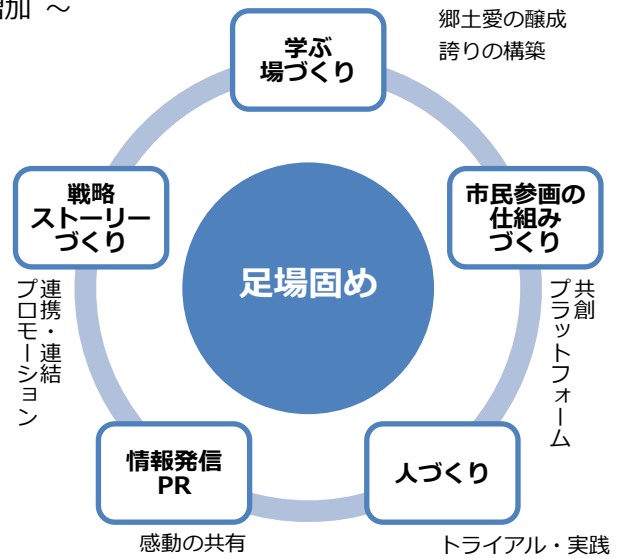
こうした取り組みによって、観光の関連産業や地域の振興、良好な環境の保全などの担い手が生まれ、持続可能な郡上づくりにつながると考えます。



【観光立市郡上を推進する3つの大きな柱】

◆足場固め ～ 内外で資源を活かす人の増加 ～

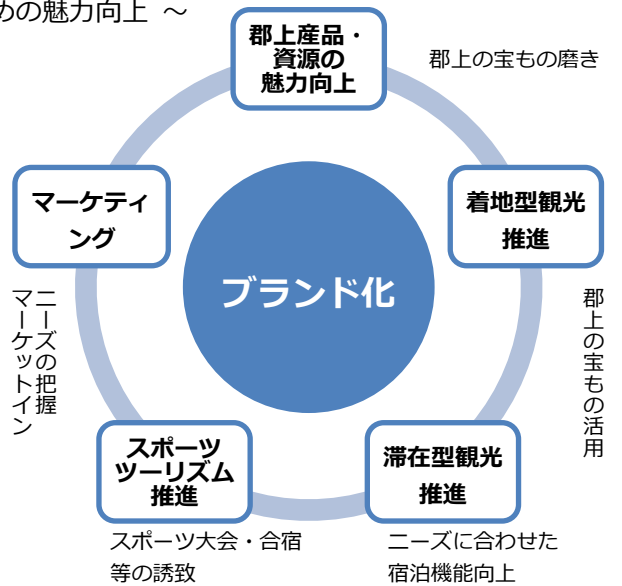
観光立市郡上を推進するためには、郡上に暮らす私たちが郡上のことを良く知り、考え、行動する必要があります。  
 このため、郡上を知る機会づくりや市民と行政等が協働で施策に関わるための人材づくりを進めます。  
 また、様々な取り組みを連携させた効果的なプロモーションを行うための戦略的なストーリーをつくり、積極的な情報発信・PRを実施するなど、市内外で郡上の資源を活かす人を増やします。



基本構想

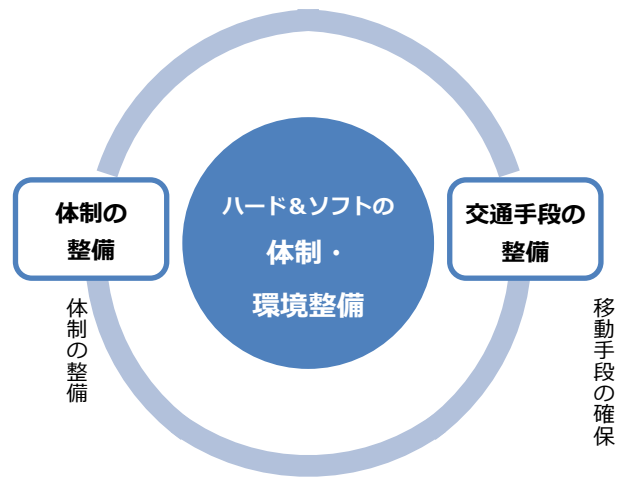
◆ブランド化 ～ 内外の人に選ばれるための魅力向上 ～

郡上おどりや白鳥おどりをはじめ、雄大な自然に囲まれたウインターリゾート・アウトドアリゾート、風情ある城下町、伝統的な水利用のまち、郡上鮎、和良鮎など、全国や世界に向けて一定のブランド力をもつ資源が郡上市には豊富にあります。  
 郡上市の活性化に向けて、こうした資源を引き続きPRし、魅力の向上に努めるとともに、まだ広く知られず埋もれている資源や、磨けばキラリと光る可能性を秘めている資源を探し、光を当て、磨いていくことにより内外の人に選ばれるための魅力を高めていく必要があります。



◆体制・環境整備 ～ 推進基盤の整備 ～

観光立市郡上の推進には、市民、事業者、各種団体、行政等が共に手を取り合い一丸となって取り組んでいく必要があります。  
 このための推進組織の設置などの体制づくりや来訪者、移住・定住者の受入体制の確立、路線バス等の公共交通体系の整備、宿泊施設等の改修、景観形成、先人から守り継がれてきた自然環境の保全など、市民にとっても来訪者にとっても満足感や充足感が高まり、郡上で暮らしたい、暮らし続けたい、訪れたいと思えるような推進基盤を整備する必要があります。



### 第3節 まちづくりの基本目標

郡上市の将来像を実現するため、7つの「まちづくりの基本目標」を掲げます。

1. 地域資源を活かして産業を育てるまち

2. 美しい水と緑を守り、暮らしの基盤が整う共生のまち

3. 支えあい助け合う安心のまち

4. 香り高い地域文化と心豊かな人を育むまち

5. 市民と行政が協働でつくるまち

6. 個性を活かし持続可能な地域づくりを推進するまち

7. 健全な行財政運営を実行するまち

## 第4節 目標人口

### (1) 将来人口推計

日本全体が人口減少社会に入っていることや、出生率の低下など少子化の影響により、全国の多くの自治体で今後の人口減少が予想されています。平成27年国勢調査人口を基とした国立社会保障・人口問題研究所の将来人口推計によれば、郡上市の令和7年の総人口は37,691人とされています。また、総人口のほか人口構成についても、地域を支える世代である生産年齢人口（15歳以上64歳未満）や年少人口（15歳未満）の割合が減少する一方、老年人口（65歳以上）の割合は増加し、令和7年には高齢化率が39.8%となると推計されます。

将来人口の推計（国勢調査人口） ※国立社会保障・人口問題研究所推計値

（上段：人、下段：％）	2005年 (H17)	2010年 (H22)	2015年 (H27)	2020年 (R2)	2025年 (R7)
総人口	47,495	44,491	42,090	39,910	37,691
年少人口（0-14歳）	6,752 (14.2)	5,818 (13.1)	5,218 (12.4)	4,718 (11.8)	4,282 (11.4)
生産年齢人口（15-64歳）	26,507 (55.8)	24,357 (54.7)	22,246 (52.9)	20,171 (50.5)	18,404 (48.8)
老年人口（65歳以上）	14,236 (30.0)	14,316 (32.2)	14,626 (34.7)	15,021 (37.6)	15,005 (39.8)

※将来推計においては、年齢不詳分を案分して算出するため、2010年国調結果、2015年国調結果とは若干数値が異なります。

### (2) 郡上市 まち・ひと・しごと創生 人口ビジョンにおける将来人口の展望

令和2年3月に改訂した郡上市人口ビジョンにおいて、国立社会保障・人口問題研究所の将来人口推計を基に、今後、出生数の増加と移住・定住の推進を図ることによる人口の安定化に向けた将来人口の展望を示しました。

郡上市人口ビジョン将来人口の展望（国勢調査人口）

（上段：人、下段：％）	2015年 (H27)	2020年 (R2)	2025年 (R7)
総人口	42,090	39,983	38,160
年少人口（0-14歳）	5,218 (12.4)	4,791 (12.0)	4,531 (11.9)
生産年齢人口（15-64歳）	22,246 (52.9)	20,170 (50.4)	18,624 (48.8)
老年人口（65歳以上）	14,626 (34.7)	15,022 (37.6)	15,005 (39.3)

### (3)目標人口の設定

人口減少という大きな潮流の中、人口が減少しても、地域の営みを維持し続け、活力ある地域づくりをどれだけ行えるかが今後のカギとなります。

このような中、出生数の増加に向けた暮らしやすい環境づくりはもちろんのこと、積極的に移住・定住対策に取り組むことによる令和7年の目標人口を以下の通り設定します。

令和7年 目標人口 38,000人



## 第5節 地域整備構想

### (1) 地域整備の考え方

郡上市は、賑わいの環境が集積する市街地、里山環境が広がる田園地域、河川流域の水辺の地域、豊かな森林資源に恵まれた森林・高原地域など、多様な地理的条件によって構成されています。また、広大な面積に多くの集落が点在しており、機能性の高い地域構造が求められています。

市内を南北に縦断する東海北陸自動車道をはじめ、中部縦貫自動車道、濃飛横断自動車道などの高規格道路網の整備が進むことにより、広域連携の結節点として大きな役割を担うことができる可能性を秘めています。

以上のような特徴を踏まえ、郡上市の地域整備の考え方を以下の通りとします。

#### 1) 広大な市域をつなぐ交通・情報ネットワークの構築

広大な面積に多くの集落が点在する中、地域の機能性を高めるために、基幹的な道路の整備や、公共交通の維持・確保による道路・交通ネットワークの向上、情報通信ネットワークの確保・維持を目指します。

#### 2) 活力ある都市機能の形成

住民一人ひとりにとって暮らしやすい地域を実現するためには、雇用や賑わいの場づくりをはじめ、住民生活に関連の深い福祉や教育・学習など、各種の地域環境の充実や、快適で活力あふれるまちづくりを進める必要があります。

このため、利便性の高い都市機能の集積を目指します。

#### 3) 地域の自立を促す機能配置と既存施設の有効活用

各地の地域特性を踏まえ、地域間の自立を促す上で必要となる各種機能の選択・配置に努める必要があります。

このため、既存施設などの有効活用を図り、自立を促す地域整備を目指します。

#### 4) 産業振興を支える基盤施設の整備

農林業の振興を支える農業基盤の整備や林道整備を進めるとともに、新たな産業の創出に向けた基盤の整備を図ります。

## (2)地域整備の方向性

地域整備の方向性は、以下の8つのゾーンを基本として地域整備の確立を図ることとします。

### 1) 市街地ゾーン

本市の中央に位置する八幡・大和・白鳥の3地域の中心地域を、行政機能や商業サービス、観光施設の集積する市街地ゾーンと位置付け、周辺地域との連携を図ります。

### 2) 歴史文化ゾーン

重要伝統的建造物群保存地区や古今伝授など多くの文化財や歴史が息づく景観を活かした歴史文化ゾーンとして位置付けます。

### 3) 交流・物流ゾーン

現在整備が進められている東海北陸自動車道の4車線化や中部縦貫自動車道の延伸を見据え、本市の南北軸並びに東西軸の結節点となる白鳥ICを中心として、交流や物流等の拠点となる交流・物流ゾーンとし、交通の利便性を活かした新たな産業の創出を図ります。

### 4) アウトドアリゾート

長良川の源流や大日ヶ岳、鷲ヶ岳から広がる山並み、高原風景など、豊富な自然に囲まれた山村風景や自然景観を活かしたアウトドアリゾートとして位置付けます。

### 5) 白山文化ゾーン

先人より引き継がれてきた白山信仰ゆかりの文化財や伝統行事等の白山文化を保存、継承するとともに、白山ユネスコエコパーク（生物圏保存地域）の生態系の保全と持続可能な利活用の調和を図るため、白山の自然、歴史、文化の魅力を発信する拠点地域として位置付けます。

### 6) ふるさと交流ゾーン

本市の重要な地域資源である森林がもつ、水源涵養、自然環境の保全、保健休養といった公益的機能の保全を図るとともに、山々に囲まれた田園風景や文化、暮らしを発信し、交流拡大を図る、ふるさと交流の拠点地域とします。

### 7) 連携交流ゾーン

本市の南玄関として、東海環状自動車道に近く産業集積が進む美濃市や関市などと隣接する立地を活かした居住や産業の振興を図る連携交流ゾーンとして位置付けます。

### 8) 世界農業遺産「清流長良川の鮎」ゾーン

本市の象徴である長良川の保全を図るとともに、郡上らしい暮らしの風景を映す親水空間としての活用を図る、世界農業遺産「清流長良川の鮎」ゾーンとして位置付けます。

◆旧町村、学校区、集落など単位として、地域それぞれに個性ある魅力や特長が多くある中、この地域整備構想は市全体をみた場合の大きなエリアの特長を捉えてゾーン設定したものです。



## 第6節 持続可能な開発目標 SDGs

### (1)SDGsの概要

SDGsは、Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略で、平成27（2015）年9月の国連サミットで採択された平成28（2016）年から令和12（2030）年までの国際社会共通の目標です。持続可能な世界を実現するための17のゴール（目標）と169のターゲットから構成され、開発途上国のみならず、先進国を含めたすべての国において「誰一人取り残さない」社会の実現を目指す、広範で統合的な取り組みです。

国においては、平成28（2016）年に内閣総理大臣を本部長とする「持続可能な開発目標（SDGs）推進本部」を設置し、アクションプランを定めるなどの取り組みが進められており、地方においても、各関係者が主体的に連携した取り組みが求められています。

「第2次郡上市総合計画後期基本計画」では、国際社会への貢献を意思表示するため、17の目標を分野別方針ごとに示します。

SDGsの本質は、17の目標は相互に関連しており、それを包括的に解決することが本当の意味で解決に向かうとも言われています。

SDGsに関連する世界で起こっている問題や課題、今後世界がどういった方向に進んでいこうとしているかという全体像を把握し、それぞれがお互いにつながっている、という感覚をもつことが大切です。

## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



**(2)経済・社会・環境のバランスのとれたSDGsの推進**

SDGsでは、経済・社会・環境の3分野の統合的な達成が求められています。例えば、経済を活性化させることのみ注力しすぎると環境の悪化につながり、また、逆に環境保護を徹底しすぎると地域経済の悪化を招き、ひいては税収不足から社会保障の低下につながっていくなど、この3分野の関連性を考えながらバランスよく取り組みを進めることが重要です。このため、政策を進めるに当たっては、その取り組みによってプラスとなる効果はもちろんのこと、マイナスとなる負荷を考え、その負荷の解消またはその影響を小さくすることを考えていくとともに、日常においても、自身の行動が及ぼす影響を考え、負荷が生じる場合には対応を図っていく必要があります。

例えば、チラシなどで広く情報を周知しようとする場合、文面を簡潔でわかりやすいものにすることや、余白を活用するなどしてページ数を減らしていくことは、原料となる森林資源の保護や印刷時のエネルギー消費の減少につながります。また、視認性の高いユニバーサルデザインフォント（UDフォント）を使用することや、文字のサイズを大きくすることで、見やすさへの配慮ができます。さらには、周知の重要度を考慮しつつ、ホームページやメール等の活用で十分であれば、用紙の使用はゼロになります。このように、SDGsのゴールやターゲットは互いにつながりあっていることから、常に関係性や影響を考えながら取り組む必要があります。

**【チラシ等の制作におけるSDGsの視点】**

森林資源保護	目標15『陸の豊かさを守ろう』
印刷時のエネルギー消費量減	目標12『つくる責任 つかう責任』
UDフォント使用	目標10『人や国の不平等をなくそう』

**観光地域づくりの推進による観光客の増加をSDGsの視点で考える**

観光地域づくりを推進している郡上市では、効果的な取り組みを進めることで、多くの観光客に訪れていただき、商店や宿泊施設、体験事業者をはじめとした観光事業者が潤うことはもちろんのこと、野菜やアユ、特産品など市内の産物のほか、バスやタクシーの利用が増えることなどにより、関連する事業者への波及効果を高めていくことが重要です。

「観光客が増加する」ということは関連する産業が活性化する反面、ゴミやプラスチック利用の増加や食品ロスのほか、自家用車やバス、公共交通等の利用が増えることで石油の利用が増えるなど、負荷が発生します。このため、受入れ側としてはできる限りゴミや食品ロスを減らしていくことや、自家用車よりもCO2の発生抑制において効率の良い公共交通機関の利用を促していくほか、再生可能エネルギーの導入を促進するなど、環境に優しい自治体として取り組んでいく必要があります。

**【観光客の増加により派生する効果及び負荷】**



(3)後期基本計画に掲げた目標及び方針におけるSDGsの達成に向けた課題整理

目標	方針	方針の直接的効果	SDGsのゴール	派生する主な影響	
				効果と負荷	負荷の解消(目標・方針)
1 地域資源を活かして産業を育てるまち	①豊かな自然を活かした農業・畜産業・水産業を育てます	○食糧等の確保	28	効果 ○国土保全【14海の豊かさを守ろう】 ○生物多様性の維持【14海の豊かさを守ろう】 ○求人増【11住み続けられるまちづくりを】	1-5・雇用対策 2-1・環境保護対策 2-2・廃棄物削減、4Rの推進
	②豊富な森林の保全と活用を図ります	○森林の保全		715	
	③ひと・もの・かね・情報の集まる商工業を育てます	○地域産業の活性化	89	効果 ○求人増【11住み続けられるまちづくりを】	1-5・雇用対策 2-2・廃棄物削減、4Rの推進 ・再生可能エネルギー活用 ・高効率設備導入
	④地域産業の核となる観光・交流産業の活性化を図ります	○観光客の増加 ○地域経済の循環		8917	
	⑤雇用の場・機会の創出と魅力ある就労環境を目指します	○雇用の増加 ○良好な雇用環境の創出	589	効果 ○所得の増加【10人や国の不平等をなくそう】	2-2・再生可能エネルギー活用 ・高効率設備導入
			負荷 ○消費エネルギー増【7エネルギーをみんなにそしてクリーンに】		
2 美しい水と緑を守り、暮らしの基盤が整う共生のまち	①自然環境を守り、快適な住環境の実現を目指します	○環境保護 ○良好な住環境形成 ○生物多様性の維持	6111415	効果 ○観光客の増【8働きがいも経済成長も】	1-5・雇用対策
	②循環型社会の実現を図ります	○環境意識向上 ○ゴミの減量 ○再生可能エネルギー活用増		79121314	
	③暮らしの中の安全・安心を守ります	○生命財産の保護	11113	効果 ○市民の連帯意識及び活動の向上【17パートナーシップで目標を達成しよう】	
	④効果的な整備と適切な維持管理により社会基盤の充実を図ります	○インフラ整備等による利便性の向上 ○ICT化による効率性の確保及び産業への展開	6911	効果 ○災害発生の減による土砂流出の減少【14海の豊かさを守ろう】	1-5・雇用対策 2-1・環境保護対策 2-2・再生可能エネルギー活用 ・高効率設備の導入 3-2・健康づくり 4-3・スポーツ活動推進
				負荷 ○化石燃料使用量増 ○電力利用料の増加 ○ICT化による仕事の喪失 ○自然環境が保たれている区域減少 ○利便性向上による身体活動の低下【3すべての人に健康と福祉を】 【7エネルギーをみんなにそしてクリーンに】 【8働きがいも経済成長も】 【15陸の豊かさを守ろう】	

目標	方針	方針の直接的効果	SDGsのゴール	派生する主な影響	
				効果と負荷	負荷の解消
3 支えあい 助け合う 安心のまち	①結婚から出産、子育てへの切れ目のない支援を充実します	○母子健康維持	3 5 10 16	効果 負荷	○女性就業者の増 【8働きがいも経済成長も】 —
	②心身ともに健やかな暮らしの実現を目指します	○市民の健康維持 ○地域医療体制の確保	3 17	効果 負荷	○介護予防 ○扶助費削減 ○健康で生きがいをもって働く人の増加 【8働きがいも経済成長も】 —
	③生涯にわたり生きがいを持ち安心して住み続けられるまちを目指します	○高齢者の充実した生活の確保	3 8	効果 負荷	○まちづくりへの関心度や活動量の増加 【11住み続けられるまちづくりを】 —
	④住み慣れた地域で安心して暮らせるまちを目指します	○支援が必要な人の支え合いの充実	1 3 10	効果 負荷	○障がい者雇用の増加【8働きがいも経済成長も】 —
4 香り高い 地域文化と心豊かな人を育むまち	①確かな学力と豊かな心をもった「郡上人」を育てます	○生き抜く力をもった子どもの育成	4 10 16	効果 負荷	○まちづくりへの関心度や活動量の増加 【11住み続けられるまちづくりを】 —
	②市民が地域文化に触れる機会を広げます	○伝統文化の維持	4 11	効果 負荷	○まちづくりへの関心度や活動量の増加 【11住み続けられるまちづくりを】 —
	③スポーツに参画できる環境づくりを進めます	○健康の維持 ○スポーツを通じた社会性の向上	3 17	効果 負荷	○求人の増加 【11住み続けられるまちづくりを】 —
	④生涯学習の充実を図り地域を担う人材育成の機会を広げます	○学んだことが社会に活かせる地域の形成	4	効果 負荷	○まちづくりへの関心度や活動量の増加 【11住み続けられるまちづくりを】 —
	⑤郡上のこれまでと今を学び、郡上のこれからを考え行動する「郡上学」を推進します	○ふるさとの誇りの醸成（シックプライド）	4	効果 負荷	○まちづくりへの関心度や活動量の増加 【11住み続けられるまちづくりを】 —
5 市民と行政が協働でつくるまち	①市民主体のまちづくりを支援します	○市民協働によるまちづくりの実現	11 13 17	効果 負荷	○健康で生きがいをもって活動する人の増加 【3すべての人に健康と福祉を】 【8働きがいも経済成長も】 —
	②誰もが尊重される地域社会を形成します	○すべての市民が不安なく生き生きと暮らせる社会の形成	4 5 10 16	効果 負荷	○女性就業者増 【8働きがいも経済成長も】 ○外国人の活躍の場の創出【8働きがいも経済成長も】 —
	③交流・連携によるまちづくりを推進します	○市外との連携強化 ○パートナーの活動増加	17	効果 負荷	○観光客の増 【8働きがいも経済成長も】 ○災害時の広域連携 【11住み続けられるまちづくりを】 ○化石燃料使用量増 【7エネルギーをみんなにそしてクリーンに】 2-2・再生可能エネルギー活用
7 健全な行政運営 を実行するまち	①市民にとって開かれた身近な市役所を目指します	○市民満足度向上	16	効果 負荷	○ユニバーサルデザインフォント、カラーユニバーサルデザインの使用による視認性向上 【10人や国の不平等をなくそう】 ○庁舎等の利用率低下（デジタル化） 7-2・公共施設適正配置の実施
	②成果を重視する効率的かつ効果的な行政運営を図ります	○職員時間外勤務の削減 ○職員能力向上 ○効果的な行政運営の確立 ○施設の長寿命化	10 11 16	効果 負荷	○非常時における拠点としての活用 ○電力使用量減【7エネルギーをみんなにそしてクリーンに】 ○紙の使用量減【7エネルギーをみんなにそしてクリーンに】 —

(4)後期基本計画に掲げた目標及び方針とSDGsの17のゴールとの関係

目標	方針	1 貧困をなくそう	2 気候変動に具体的な対策を	3 持続可能な開発のための健康を	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を実現しよう	6 安全な水とトイレを世界中に	7 再生可能エネルギーを
1 地域資源を活かして産業を育てるまち	①豊かな自然を活かした農業・畜産業・水産業を育てます		◎		○	○		
	②豊富な森林の保全と活用を図ります		○		○	○	○	◎
	③ひと・もの・かね・情報の集まる商工業を育てます		○		○	○		
	④地域産業の核となる観光・交流産業の活性化を図ります				○	○		
	⑤雇用の場・機会の創出と魅力ある就労環境を目指します				○	◎		
2 美しい水と緑を守り、暮らしの基盤を整うまち	①自然環境を守り、快適な住環境の実現を目指します	○	○	○			◎	
	②循環型社会の実現を図ります			○			○	◎
	③暮らしの中の安全・安心を守ります	◎		○		○		
	④効果的な整備と適切な維持管理により社会基盤の充実を図ります	○		○	○	○	◎	
3 支えあひ合う安心のまち	①結婚から出産、子育てへの切れ目のない支援を充実します	○	○	◎	○	◎		
	②心身ともに健やかな暮らしの実現を目指します	○	○	◎				
	③生涯にわたり生きがいを持ち安心して住み続けられるまちを目指します	○	○	◎	○	○		
	④住み慣れた地域で安心して暮らせるまちを目指します	◎	○	◎	○			
4 香り高い地域文化を育むまち	①確かな学力と豊かな心をもった「郡上人」を育てます	○	○	○	◎	○		
	②市民が地域文化に触れる機会を広げます				◎	○		
	③スポーツに参画できる環境づくりを進めます			◎		○		
	④生涯学習の充実を図り地域を担う人材育成の機会を広げます				◎	○		
	⑤郡上のこれまでと今を学び、郡上のこれからを考え行動する「郡上学」を推進します				◎			
5 市民と行政が協働でつくるまち	①市民主体のまちづくりを支援します	○			○	○		
	②誰もが尊重される地域社会を形成します	○		○	◎	◎		
	③交流・連携によるまちづくりを推進します	○			○			
7 健全な行政運営を实行するまち	①市民にとって開かれた身近な市役所を目指します	○						
	②成果を重視する効率的かつ効果的な行政運営を図ります					○		○



分野別方針ごとに  
該当するゴール

◎ 目指すゴール  
○ 関連するゴール

8 経済の発展	9 産業の振興	10 社会の持続	11 国土の強靭	12 資源の循環	13 環境の保全	14 海の豊かさ	15 陸の豊かさ	16 平和と正義	17 持続可能な開発
◎	○	○	○	○		○	○		○
○	○			○	○	○	◎		○
◎	◎		○			○			○
◎	◎			○		○			◎
◎	◎	○							○
○	○		◎	○	○	◎	◎		○
	◎		○	◎	◎	◎	○		○
○			◎		◎			○	○
	◎		◎		○			○	○
○		◎						◎	○
		○	○	○				○	◎
◎		○	○		○			○	○
○		◎	○		○			○	○
○		◎	○	○	○			◎	○
○			◎	○		○			
									◎
				○	○				○
		○	○	○	○	○			
○			◎		◎			○	○
○		◎	○		○			◎	○
			○		○				◎
								◎	○
○		◎	◎					◎	○

## 第7節 小さな拠点とネットワーク

### (1) 小さな拠点とネットワークの考え方

小規模な集落が広い範囲に点在する中山間地域では、人口減少や高齢化によって集落規模が縮小する中で、買い物や医療、福祉など日常生活に必要な様々なサービスをそれぞれの集落の中で個別に提供することが難しくなっています。また、伝統・文化の継承をはじめ、地域における行事等を維持・継続していくことも困難になりつつあります。

このため、将来にわたって安心して住み続けられるよう、小学校区など複数の集落が集まる基礎的な生活圏（集落生活圏）の中で、分散している買い物や福祉、医療など様々なサービス機能を一定の範囲に集約し利便性を高めるとともに、移動手段の確保や集落間の助け合い・連携など、交通や人、情報等のネットワークでつないでいく「小さな拠点」を形成していく必要があります。そして、これらの地域の実情に応じてつくられた「小さな拠点」同士が、複合的、重層的な「ネットワーク」を形成することで、互いに機能を補いあい、地域での暮らしを総合的に支えていくことが「小さな拠点とネットワーク」の考え方です。

こうした「小さな拠点とネットワーク」の構築に向けては、地域の課題を自分ごととして捉えた上で住民が地域の将来像を描き、課題の解決に向けて主体的に取り組んでいく必要があることから、自ら地域を運営していく組織の構築はもとより、地域を維持していくための生活に必要なサービスや仕事・収入の確保など、地域全体で活力を高めていくことが重要となります。

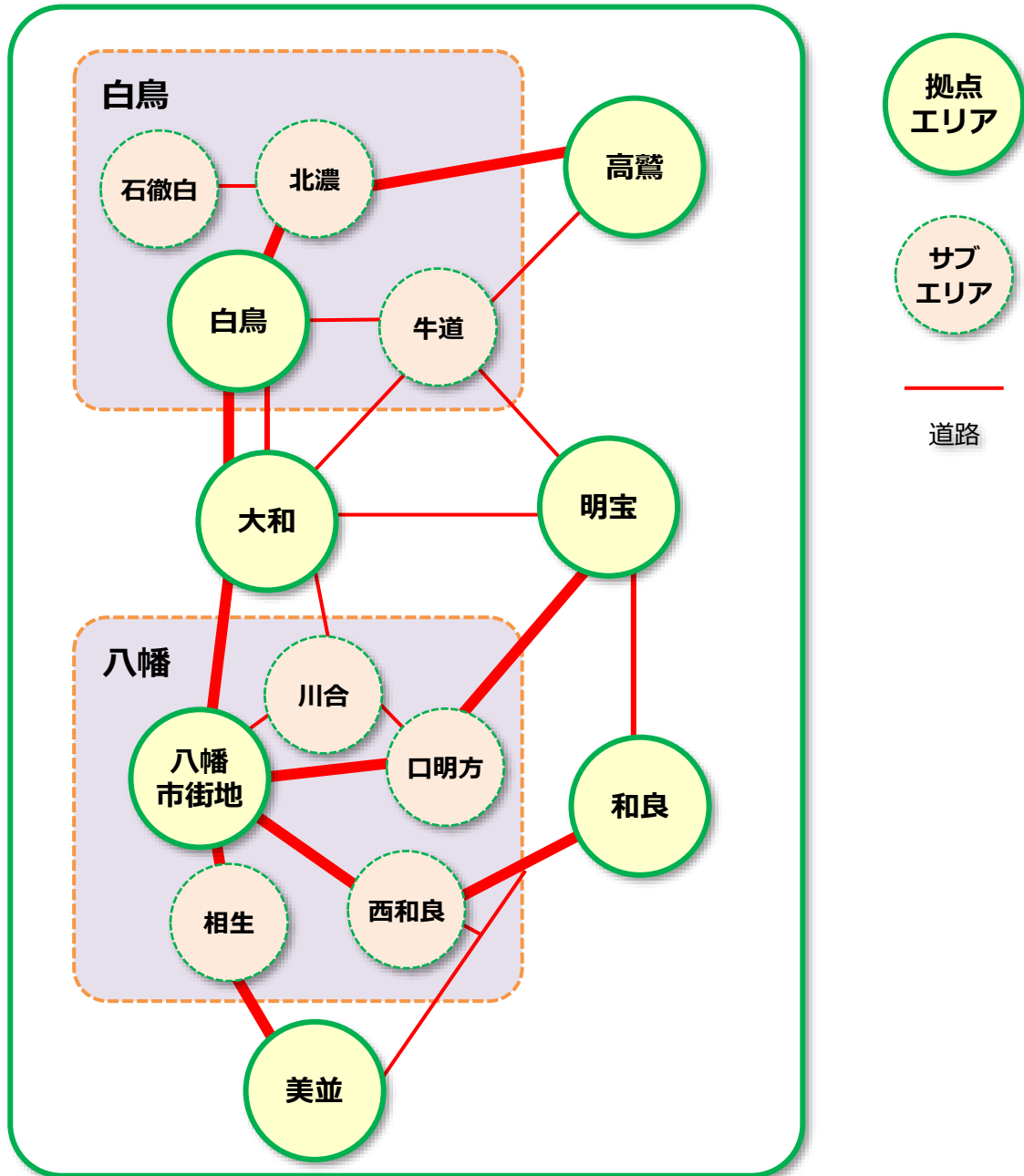
本市においても、この「小さな拠点とネットワーク」を推進するとともに、地域運営組織の構築を支援し、住民が主体となった地域づくりの確立を目指します。



※小さな拠点のイメージ 内閣府

(2)郡上市における小さな拠点のエリア

市内の班や組、地区会、自治会は、地域における最も身近な支え合いの単位(集落)であり、伝統文化を維持・継承する単位(集落)にもなっています。市が考える小さな拠点のエリアは、基本的には、自治会等の活動を補完できる旧町村単位とします。ただし、八幡地域、白鳥地域については、小学校区を基本とした比較的小規模な単位を、生活や地域コミュニティの形成に最低限必要な一定の機能を有しているサブエリアとして位置付けました。



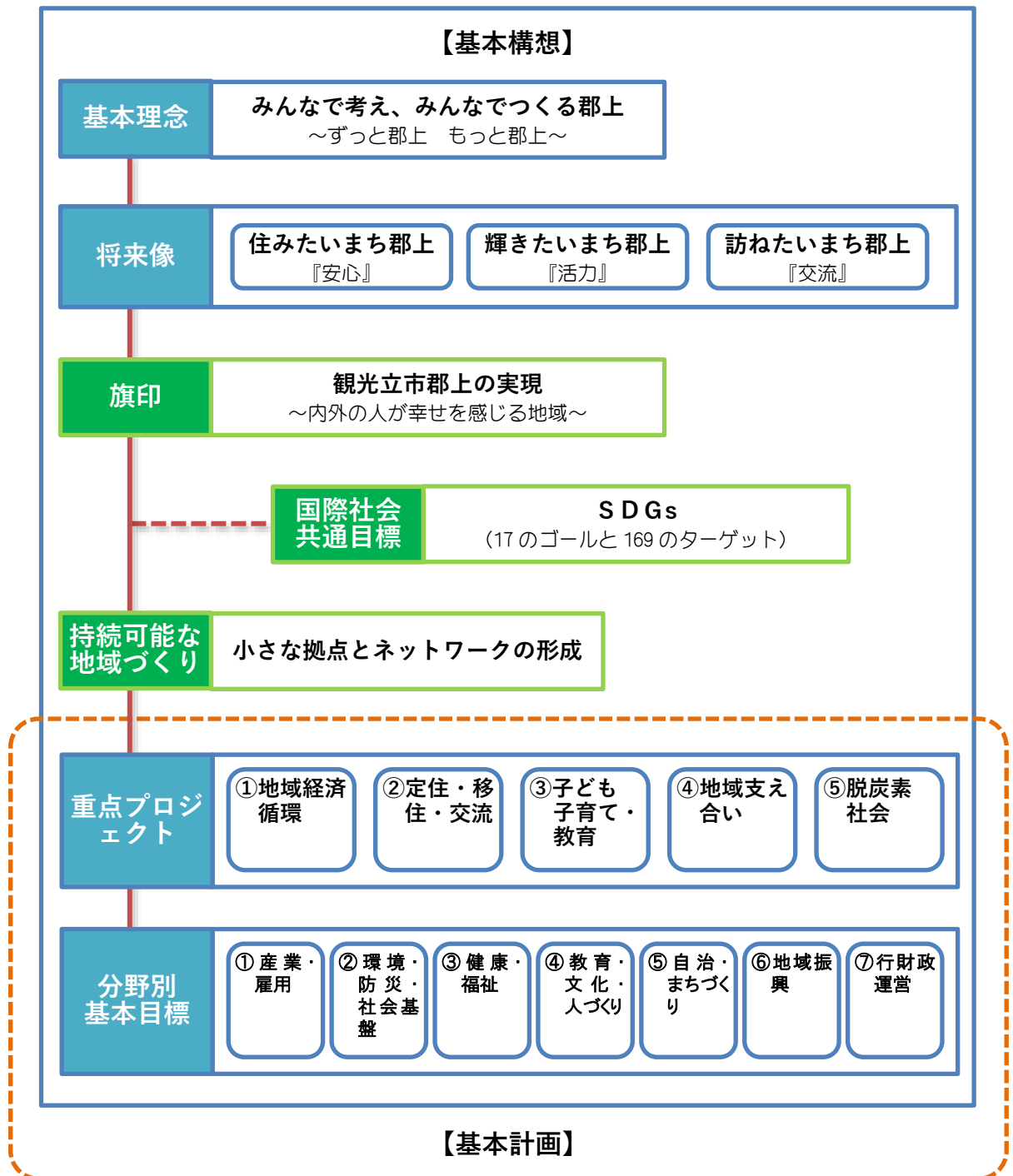
※ 八幡、白鳥については、小学校区を基本とした単位を小さな拠点のサブエリアとして位置付けます。また、美並については八幡町小那比地区、明宝については八幡町有穂地区の一部、和良については八幡町西和良地区とのつながりを考えていきます。



## 第2章 基本構想の構成・体系

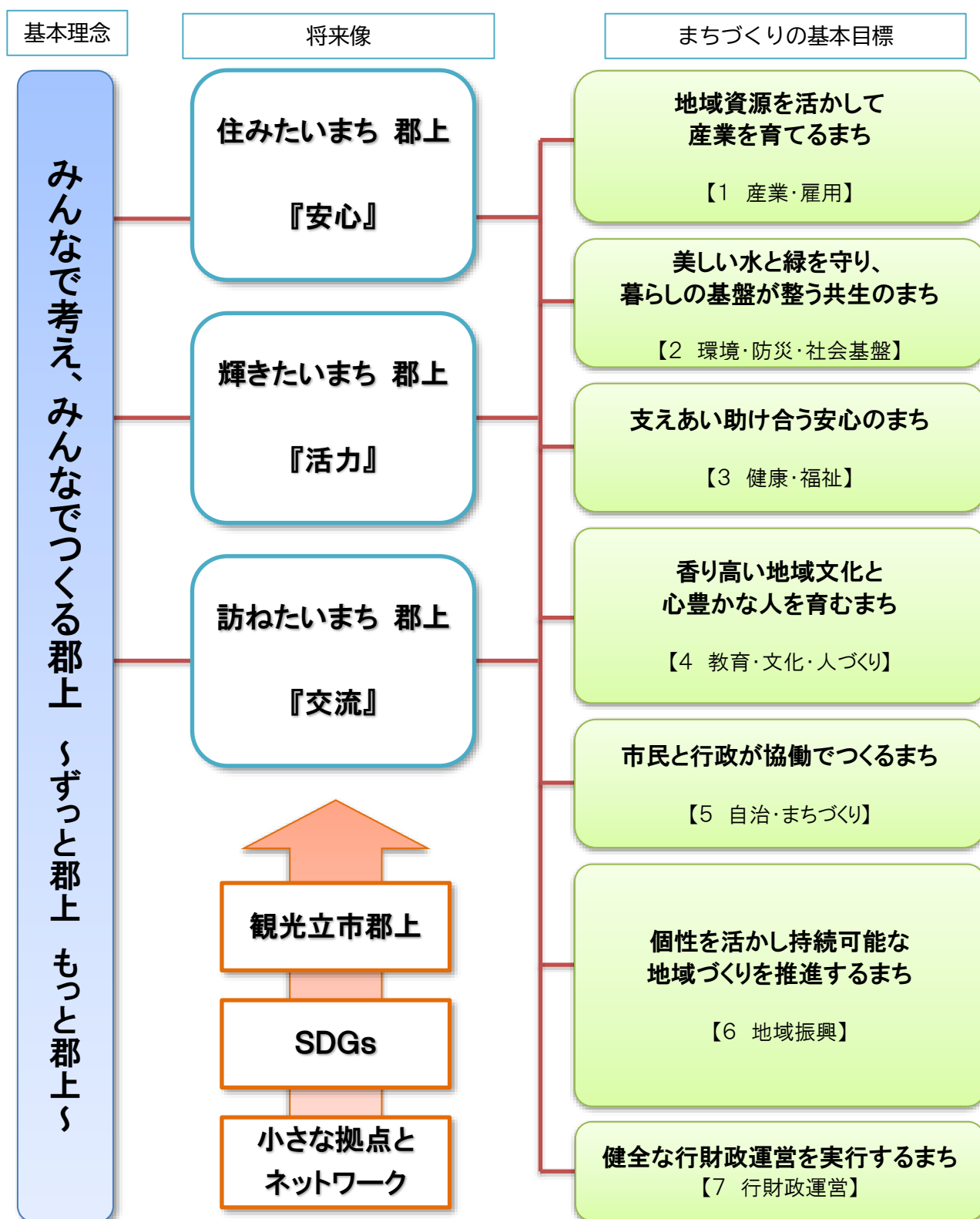
### 第1節 基本構想の構成

基本構想の構成は、基本理念や将来像のほか、政策を進める上で重要となる『観光立市郡上』や『小さな拠点とネットワーク』のほか、国際社会への貢献を見える化する『SDGs』を踏まえ、分野別の基本目標の各種の取り組みにつなげていく構造とします。



## 第2節 基本構想の体系

第2次総合計画では、「基本理念」のもと、3つの「将来像」と7つの「まちづくりの基本目標」を次のような体系に位置付けます。



分野別方針

- ①豊かな自然を活かした農業・畜産業・水産業を育てます
- ②豊富な森林の保全と活用を図ります
- ③ひともの・かね・情報の集まる商工業を育てます
- ④地域産業の核となる観光・交流産業の活性化を図ります
- ⑤雇用の場・機会の創出と魅力ある就労環境を目指します

重点プロジェクト

- ①自然環境を守り、快適な住環境の実現を目指します
- ②循環型社会の実現を図ります
- ③暮らしの中の安全・安心を守ります
- ④効果的な整備と適切な維持管理により社会基盤の充実を図ります

- ①結婚から出産、子育てへの切れ目のない支援を充実します
- ②心身ともに健やかな暮らしの実現を目指します
- ③生涯にわたり生きがいをもち安心して住み続けられるまちを目指します
- ④住み慣れた地域で安心して暮らせるまちを目指します

- ①確かな学力と豊かな心をもった「郡上人」を育てます
- ②市民が地域文化に触れる機会を広げます
- ③スポーツに参画できる環境づくりを進めます
- ④生涯学習の充実を図り地域を担う人材育成の機会を広げます
- ⑤郡上のこれまでと今を学び、郡上のこれからを考え行動する「郡上学」を推進します

- ①市民主体のまちづくりを支援します
- ②誰もが尊重される地域社会を形成します
- ③交流・連携によるまちづくりを推進します

- 【八幡】歴史と伝統を守り 互いに支え合う住民主体の地域づくりを進めます
- 【大和】誇り高きところを育み 人の流れを起し 産業に結びつく地域づくりを進めます
- 【白鳥】地域資源を活用し 市民協働によるいつまでも住み続けたいと思う地域づくりを進めます
- 【高鷲】自然と共存した文化の継承と 安定した生活を送れる地域づくりを進めます
- 【美並】魅力的なコミュニティの形成による住みつけたい地域づくりを目指します
- 【明宝】住民主体による手づくり自治と 産業の創出を目指します
- 【和良】地域資源を活用した産業振興を図り いつまでも安心して暮らしていける地域づくりを進めます

- ①市民にとって開かれた身近な市役所を目指します
- ②成果を重視する効率的かつ効果的な行財政運営を図ります

- ① 地域経済循環プロジェクト
- ② 定住・移住・交流プロジェクト
- ③ 子ども子育て・教育プロジェクト
- ④ 脱炭素社会プロジェクト
- ⑤ 地域支え合いプロジェクト

